

トークス プラス

Talks

富里市区長会
トークイベント記録集



はじめに

富里市区長会では、令和4年度事業として、区・自治会運営の一助となる意欲的な取組をされている区・自治会長にインタビューを行い、同年10月、そのお話をまとめたインタビュー集「Talks(トークス)」を発行しました。

「Talks」では、9つの区・自治会の取組をご紹介しましたが、活字では伝えきれない“自治会活動に対する想いや熱意”を多くの方々に感じていただきたく、インタビューを行った区・自治会長の皆さんをお招きして、インタビュアーの杉山幹夫さんの進行によるトークイベントを開催しました。

本イベントでは、「Talks」ではお伝えできなかったエピソードや、杉山さんが語る富里の魅力など、あらためて素敵なお話をたくさん伺うことができました。

その貴重なお話の数々を一人でも多くの方々にお届けするため、本トークイベント記録集「Talks+(プラス)」を発行いたしました。

インタビュー集「Talks」はもとより、この「Talks+」が地域活動に関わる全ての皆様の“羅針盤”となれば幸いです。

令和5年3月 富里市区長会

令和4年度富里市区長会

区・自治会長インタビュー集「Talks」発行トークイベント

日 時：令和4年11月3日（祝）10時00分～
場 所：インターナショナルリゾートホテル湯楽城

I 次 第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 トークイベント 第1部（10:10～）、第2部（11:20～）
- 5 閉 会 （閉会后、区・自治会長ランチミーティング）

II 登壇者

進行：杉山幹夫さん（北海道中小企業ネットワーク・地方自治研究所長）
秋葉 隆さん（前両国区長）
安藤禧一さん（ファミリータウン富里自治会長）
上村 豊さん（花輪台自治会長）
木内綾子さん（桜台自治会長）
高谷正敏さん（大和ニュータウン自治会長）
竹下 正さん（日吉台6丁目自治会長）
中野良治さん（東立沢自治会長）
三浦和則さん（七栄第三区長）
山本 猛さん（立沢台自治会長）

III 来 賓

五十嵐博文市長、山根康夫副市長、野並慶光市議会議員



【第1部】

杉山さん 自治会長の皆さん、今日は、一緒に勉強していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

私は、10年程前から調査で富里へ来て、素敵だと思って谷津の集落とかを歩いてまわっていました。自治会の皆さんの活動もお祭りなどを通じて拝見していました。富里の自治会の特徴として今回のヒアリングで明確になったことは、自治会長を中心にしたネットワークが形成されているということでした。ピラミッド型の組織図に沿って運営されているだけではなくて、直接、自治会長が会員と結びついて、お祭りとか防災とかを動かしている。あるいは、立場を変えて浄化槽の管理や、自治会の事以外の色々な分野のものか縦横無尽に人のネットワークがあって、その中核を自治会長が担っている。市役所の関係する部門や市民活動を応援する部署が核の中に入っているネットワークがきちりと形成されていました。日本古来の本来の社会運営の在り方が取り戻されているということを痛感して、感動した次第です。

そして、自治会が目的を共有した集団になっているということです。その目的とは、富里を豊かにするとか、安心して暮らせるということです。必然的にその土地の価値をあげていくこととなります。簡単に言えば資産が高く売れたり、不動産の値段が維持されたりするということ。こういう状態を自治会活動が生み出しているということです。これは地方自治体にとっては固定資産税が増えることとなります。自治会活動が一生懸命行われることで、街の価値が上がり、その価値が不動産価格に反映して、それが固定資産税に反映して街の運営に返ってくるという素晴らしい循環が起こっている。今回のヒアリングでその姿が明確になりました。

それでは、硬い話はこのぐらいにして、皆さんの自治会活動について、楽しくお話を伺ってきたいと思います。

杉山さん 秋葉さん。いつもはポロシャツ姿ですが、今日はダブルのスーツでかっこいいですね。秋葉さんのところは、かつて栄えた両国という上総と下総の間を繋ぐ、明治から栄えた場所にある自治会です。商業的には寂しくなっていく中ですが、そこで電気屋さんのご商売を維持されるというのは大変だったんじゃないですか？

秋葉さん 私は生まれも育ちも両国で、58年ほど生きてますが、小学生当時は結構商店がありました。パチンコ屋があった時代は、私は生まれていませんでしたが、映画館からパチンコ屋もあって富里では一番栄えていた場所だったんです。軽便鉄道の駅もあって。ほんとに今見渡すと寂しい限りですね。



軽便鉄道『富里駅』（昭和19年撮影）

杉山さん 軽便鉄道の跡が残っているんですよ。私、その跡地を歩いてみましたが、昔栄えた所が失われてはいるけど、人はちゃんと住み続けていて、お祭も継続していたんです。そんな中でとにかく役員の跡取りを作るのが大変だったと伺って、一方で自治会の役員がずっと担ってきたお祭りを実行委員会として独立させて、実行委員会に予算をつけて、組織を分けるということをやられましたよね。今はどんな状況ですか？

秋葉さん そうですね。一番寂しいのは、コロナ禍で区の活動ができなくなったことです。両国としては

一番の繋がりがってというのはやっぱり夏祭りで、祭りの時は役員も区民も関わって一つの祭りを作り上げて楽しく過ごすんですけど、作り上げる過程がすごく大事だなと痛感しています。ここ3年ほど出来ない状況が続いて、繋がりが希薄になってしまって、「区に入っているけど何の意味もないんじゃないか」という声も聞こえてきます。

杉山さん 3年間だと、中学生なんか祭りを経験しないで卒業しちゃってますからね。

秋葉さん そうですね。この祭りのいいところは、吹奏楽とか子どもの発表の場でもありましたからね。杉山さんおっしゃるとおり、両国区は元々、区で祭りを運営していたんですが、区長さんによっては「今年は手が少ないからやめておこうか」という話がでたり、やらない年もあったり、一生懸命やってくれる区長さんもいたり、年によって波があったんですね。独立した組織の下で継続してやるのが大事だなと感じていて、当時から配線や音響とかで祭りは担当していましたので、実行委員会を立ち上げれば毎年継続してできるなと思って、消防の仲間と立ち上げた覚えがあります。

杉山さん 区の組織にこだわらないで、別にネットワークを作っていく。それが消防だったり商店だったり色んなネットワークでお互いが繋がることでお祭りを維持できたということですね。

秋葉さん そうですね、はい。

杉山さん 秋葉さんのお話を伺っていると、お店の運営も苦労があると思うんですが、防犯灯の関係とかで日吉台と繋がって、街の人にバスツアーを組んで畑を見てもらおうとか、富里市全体を見渡したネットワークをお作りになられようとしているのが非常に印象的でした。ありがとうございます。カッコいい自治会長さんだと思います。

杉山さん 次は安藤さん。安藤さんのお話で一番印象に残ったのが、「自治会の皆さんに救われました」という一言でした。自治会の活動をしていなければこんなに人に会うことはなかっただろうと。自分の生きがいになっているという。「自らの住む街のことに関われるのが幸せだ」とおっしゃったんですね。先輩からそんなお話を伺うと涙が出そうになっちゃいます。安藤さん、どんなところで幸せを感じますか？

安藤さん 回覧を配る時とかに、何人もの方とすれ違うんですが、こちらからではなく相手の方から「おはようございます」って声をかけていただけるのは、ありがたいことなんですよ。前は、4LDKの家に一人だけで、「ぽつん」「がらん」「し～ん」って感じでしたから。そのことがまず嬉しく思います。あとは、私もう76になって、今までやりたい事はほとんどやってきたんです。バイクに乗ったり、旅行に行ったり。あとじゃあ何をするのかって言ったら、体が元気なうちに自分の住む街のために少しでも役に立てばいいかなという考えが根本にあります。ですから、自治会活動を通じて何かできているというのが幸せな事だなと思っています。

杉山さん ありがとうございます。私がファミリータウンを通りかかった時も安藤さんが一人でがんがん草刈りをしている姿を拝見しましたが、背筋もシャンとしていて70代とは思えない動きで。「杉山さん太ってますね」とか言われちゃって（笑）。



もくもくと草刈りをする安藤さん

安藤さん 失礼しました（笑）。

杉山さん 私も家の周りの草刈りをしないといけない
なと思わされる元気な方です。秋葉さんがお隣で
お祭のお話をされていましたが？

安藤さん 今年の春の定期総会で夏祭りの廃止が
決まりました。ただ、廃止しますか？という議案を
出した時に、「何か代わるものを」とか「ただやめる
だけではなくて何かすべきではないか」というご意見
がありました。それで、有志で夏祭り保存会を立ち
上げる方はいらっしゃいますか？という文書を
回覧してみたところ、4名の方が手をあげてくだ
さいました。来年すぐということではないですが、
申し出られた方と個々にお話して、少しずつ一歩
でも進めばと思っています。

杉山さん 役員選びも大変で、人手が足りないんだ
と言われますけど、例えば防災の事とか、祭りの
事とかを個別に「やる人いますか？」って聞くと
「それならできる」という人はいるんですね。

安藤さん いらっしゃると思いますね。400世帯を
超えると、色んな職業の方がいらっしゃって、電気
工事が得意な方も重機を運転できる方もいらっ
しゃいますから。そういう方とコミュニケーション
をなるべくとって、やっていければと思っています。

杉山さん 「よし、やってやらあ」という方にお任せ
するというのも自治会のやり方の一つですね。

安藤さん 結構いらっしゃるんですよ。皆さんが
集まっている場では手が上がらないですけど、
個々に「どうでしょうか？」って聞くと「いいですよ
って言ってくださる方はいらっしゃいます。そういう
方法で少しずつやっていきます。

杉山さん 公のコミュニケーションと個別のコミュニ
ケーションの組み合わせは大事ですね。

それから、今日お越しの自治会の皆さんが一番
困っているのが、滞納問題だと思います。インタ
ビュー集には書かれていませんが、安藤さん、
独自に努力されているというのを聞きましたが、
どんな苦労がありましたか？

安藤さん 何年も滞納のままの方がいらっしゃって、
そのまま後任の方に引き継ぐわけにいかないんで、
この時点で何かしなければということが第一に
あります。やはり法の力を借りるのが一番適当かな
と思って弁護士会に相談したり、直接、簡易裁判所
に行って「このやり方はどうでしょうか？」と
伺ったりして、少しずつ始めています。

うちの自治会で過去に取り組みされた方がいらっ
しゃって、その資料を参考に、「いつまでに払って
ください」という文書を郵便局の内容証明で送った
のが最初でした。次のステップとしては、簡易裁判所
の支払督促という制度を使うと、裁判所から相手方
に文書が届くんですけど、それは驚くと思うんです
よね。文書が届いて2週間反応がないと、仮執行
宣言ということで強制執行まで行く可能性があって、
異議申し立てがあれば自動的に裁判になります。

訴訟に関することは自治会の規約で3/4以上の
賛成が必要となっているので、臨時総会を開いて
弁護士費用をかけてでも行うべきかを諮りました。
結果的に委任状の提出も少なく、そこまでの数が集ま
らなかったため実施することにはなりません。でも、
それで終わりということにはせず、今度は
弁護士会が実施している和解調停を考えています。

杉山さん 滞納は解決したんですか？

安藤さん 年度当初3件ありまして、そのうちの
1件は競売にかかっていたものですから、不動産屋
を通じて、9割が回収できて、もう1件は支払督促
をして、2週間経つ頃に私からコンタクトをとった
ところ、支払い計画を立てて、毎月分割納付する
ということで申し出られました。残りのもう1件は
行方不明なので、弁護士会に相談をする予定です。

杉山さん そうやってこつこつと解決して、「次の自治会長に負担を掛けないように」とおっしゃっていましたが、実際に裁判になってもいいかどうかも全部総会にかけて会員の皆さんの総意で決めることが大事なんだと伺っていて思いました。

安藤さん それは大事だと思いますね。

杉山さん 災いもこうやって自治会の運営の強みに変えていく姿を拝見して、改めて感動させていただきました。ありがとうございました。

杉山さん 次は上村さんにお伺いします。安藤さんや秋葉さんに何かご質問とかはありますか？

上村さん 皆さん大変だったんだなあとお聞きして思いました。インタビュー集も読んでいますので、私とは全然違うなと思いました。

杉山さん 自治会ごとに特徴がすごくあって、上村さんの所は小さい自治会で皆さん和気あいあいとした感じですが、会場の皆さんもご自身の自治会と比較して大ききとか問題の抱え方が違うと思います。経験豊富な自治会長さんがいらっしゃいますので、直接ご質問されると、詳しく教えてくれると思いますので、どうぞコミュニケーションをとってみてくださいね。

上村さんは、やっちろ(八代市)出身の九州男児で、いつも優しく人を脅すなんてことは無いですけど、U字溝が壊れそうな時は相当頑張って皆さんでお金を出し合って解決したんですよね？

上村さん そうですね。花輪台は57世帯でメイン通りは市道ですが、そこから分かれる5本の道は住民の共有財産の私道なんです。団地ができてかなり経っていて、道もデコボコで、歩くにも自転車で通るにも危なかったんですよね。それで、何とかしたくて市に相談したら、「そこは私道だから、住んでいる人たちの自己負担で直さないといけない」と

言われて。古い時代のコンクリートなので、足をかけると側面が倒れてしまうような状態だったんですね。U字溝は自分たちで買ってきて直しましたが、5本の道路は相当お金もかかるので、さすがに自分達では直せなくて。

じゃあ、どうしようかということで、道路改善実行委員会を立ち上げました。そこで「不在地主にも負担してもらえれば住民の負担も減るよね」って話になって、ある人が、「道路も財産だろう、その土地も価値が上がったり下がったりするものだから」って言って、不在地主にも手紙を出してお金を出してもらおうとなりました。

杉山さん なんか道路って役所に頼んだらいつでも綺麗になると思ってしまうけど、私道っていうのはすごく大変なことでしたね。実際、不在地主の方も負担してくれたんですか？



住民共有財産の団地内道路

上村さん はい。負担してくれましたね。

杉山さん これはまた凄いですね。

上村さん 私が文書を書いたわけではないんですけど、「財産価値が下がりますよ」ってね。そうしたら納得してくれて、負担してくれたんです。そんな伝え方を考えられた人が凄いなと思いました。

杉山さん 「整備されていない土地は地価が下がりますよ」って、しっかりお伝えになったんですね。

あの一、上村さんとお話していると、いつも気分が明るくなるというか楽しくなるんですが、人とうまくコミュニケーションをとるっていうのは、子どもの頃から身に付いたものなんですかね？

上村さん 私が生まれ育ったのは、やっしろで、豊表のい草の産地です。国内の99%が熊本県産で、い草というのは寒い12月に植えて、暑い7月の終わりに収穫して、それを泥水に漬け込んで天日干しをするんです。今はボイラーがあるからやらないと思いますけどね。

田んぼも今は個人で色々な機械を持ってますから助け合うということはないでしょうけど、その当時は、地域の人が集まって、今日はこの家、明日はこの家という感じでやっていたから協力してやらないと物事が進んでいかないなと肌で感じていました。

杉山さん 日本古来の助け合いというか、地域運営みたいなことが染みついた農家育ちということが今に繋がるんですね。

上村さん そうかもしれませんね。ところで話は変わりますが、ちょっといいですか。今日は、い草について調べてきました。い草は、元々日本で作っていたんですが、ある時から中国から入ってきて、ほとんどの日本のい草農家が辞めちゃうんですね。でも、熊本県だけが研究して色々な品種を開発して今に至っているの、「い草は熊本県にしかないよ」ということです。

今日のトークイベントがあるから、調べておかないと思って。せっかく調べてきたので皆さんにも知っていただいたほうがいいかなと思ってご披露しました（笑）。以上です。

杉山さん いくつになってもふるさとって大事ですもんね。富里も充分ふるさとになっているとは思いますが。日本古来の助け合いの文化みたいなものが残っていて、人と協力して物事を動かしていく

ということが自治会運営の中でも必然的に輝いていくんだなあと、改めて思いました。どうもありがとうございました。

杉山さん 木内さん。エプロン姿の木内さんしか拝見していませんでしたが、今日はエレガントで、皆さんのお話をここまで聞かれたり、木内さんのお話が活字になったりしました。思うことなどございますか？

木内さん とても上手にまとめてくださって、全ての記事を読ませていただきました。悩みも苦労も同じだなと痛感しました。他の自治会長さんのお話を伺う機会があればすごく私たちの自治会運営にも役に立つなと実感しています。

杉山さん この事業自体が、初めは他の街の最先端の自治会の事例を講義できる講師を探していたようですが、私の所にその話が来た時に、富里は優れた自治会運営をされていると思っていたので「よその事例を学ぶよりも富里の中のことを掘り下げれば、答えはそこに充分あるので、富里の中を調べませんか？」って、お伝えしたんです。そうしたら、市役所の事務局の皆さんが一生懸命勉強を始めるんですね。その姿を木内さんもお覧になっていたと思いますが、いかがでしたか？

木内さん インタビューの際にもお話しさせていただきましたが、私は、必ず出向くようにしています。電話で終わらせることもできると思うんですが、例えば、建設課の窓口で動態地図を見ながら「ここですよ、あそこですよ」って話をするとか。市民活動推進課もそうですが、いつもニコニコしながら笑顔で対応してくれます。「木内さん、ここまででは調べられます」って、アドバイスをしてくれることで、一歩前に出られるんですね。

桜台の規約で自治会長は最長で4年となっていて、あと半年で終わります。次の自治会長が決まっているんですけど、次の方になるべく負担をかけ